

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:3 事業名:セーフティドライブ・チャレンジ作戦事業費

アドバイザー	評価区分	評価内容
村上アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の部だけでなく、高校生の部などを設けて、5人1組で連帯意識を高めて無事故・無違反を目指す取り組みは、評価できるので、事業を継続してもらいたい。</li> <li>・企業や団体に所属しない一般の県民が参加する場合には、参加者を5人確保することが困難であると考えられるため、例えば、参加要件を現在の5人1組から3人1組や2人1組とするなど、参加しやすいものに変更することを検討すべきである。</li> <li>・アンケート調査を実施するなど、参加者の意見を確認した上で、参加者のメリットをPRし、新規参加者を増やすことが必要である。</li> </ul>
小口アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の免許人口10万人当たり参加者は、他県と比べ、トップクラスである点は評価できる。</li> <li>・しかし、県全体の免許保有者数と比べると6%程度の参加者であるため、今後は、新規参加者獲得方法を検討すべきである。</li> <li>・産業労働部や教育委員会など、県庁のネットワークを通じて新規参加者獲得方法を検討すべきである。</li> <li>・参加者のメリットを分析し、新規参加者が増加するようなPRを検討すべきである。</li> <li>・今後、新規参加者が増加しないような状況が続くようであれば、他の交通安全団体等に事業を移管することも将来的に検討してもらいたい。</li> </ul>
小澤アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業により事故率が減少していることは評価できる。</li> <li>・地域全体に当事業への参加の呼びかけを行い、新規参加者を獲得できるよう、呼びかけ方法の検討をすべきである。</li> </ul>